

会派の構成

(◎は代表者)

志政会(7名)

- ◎小谷野 剛、新良 守克
- 萩原 義典、太田 博希
- 町田 昌弘、田村 秀二
- 東山 徹

公明党(4名)

- ◎齋藤 誠、綿貫 伸子
- 加賀谷 勉、磯野 和夫

日本共産党(3名)

- ◎猪股 嘉直、大沢えみ子
- 広森すみ子

新政みらい(3名)

- ◎栗原 武、土方 隆司
- 内藤 光雄

新しき(3名)

- ◎金子 広和、笹本 英輔
- 矢馳 一郎

無所属

- 高橋ブラクソン久美子、大島 政教

■財源確保に関する意見書を提出

市議会では、市が安定して住民サービスやまちづくりを行うために必要不可欠な財源を確保するために、議員提出議案として「地方財源の充実確保等を求める意見書」を上程し、総員賛成で可決しました。

地方税財源の充実確保等を求める意見書(要旨)

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。こうした中、基礎自治体である市が住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、自主財源の根幹をなす地方税財源の充実確保とともに、地方の固有財源である地方交付税の増額による一般財源総額の確保が不可欠である。よって、国においては、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

1. 地方税財源の充実確保について
 2. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
- ※全文はホームページをご覧ください

記

そこが聞きたい!! 一般質問



わがまちの魅力のさらなる発掘と活用・発信
 土方 隆司 (新政みらい)

今回の主なテーマ

- ▶新たな大使の任命
- ▶WEB環境の整備
- ▶魅力の活用

◆狭山の特色を活かし、狭山の名を市外へ!

①魅力の発掘のために、地域や関係団体とはどのように連携しているのか。

②魅力の発信のために、通信環境の整備と新たな大使の起用が必要だと思うが、見解は。

市民部長 ①地区センターにまちづくり推進会議を設置し、地域の活力を引き出す事業を地域と連携して実施している。さらに、24年度には協働ガイドラインを策定し、市民提案型協働事業を募集し、地域課題の解決や地域の魅力を発掘する事業に助成金を交付している。

今年度の市民提案型協働事業の一つに、狭山サイクルタウン構想という事業があり、元気大学の修了生を中心に結成された市民団体が、市内のさまざまな団体に協力を依頼して

事業を企画し、市と協働で実施している。
 ②通信環境は、元気プラザも含めて利用者の意見も参考に、今後、調査研究していく。

環境経済部長 ②狭山市には現在活躍中の歌手や著名人もおり、また名産品もあることから、今後、それらにちなんだ新たな観光大使の任命を検討していく。



狭山市の魅力を発信

一般会計決算における要望指摘事項

各常任委員会で審査された決算のうち、一般会計については審査の結果が要望指摘事項を付して報告されました。本会議で採決した結果、原案のとおり認定しました。

要望指摘事項

■ 総務経済委員会

- 1 行政報告書の記載が変更されたが、情報量を増やして更にわかり易い内容となるように創意工夫に努められたい。
- 2 まちづくりや協働事業の拠点となる自治会集会所などの整備に対する補助金は、自治会要望に対応できる予算措置に努められたい。
- 3 店舗住宅リフォーム補助金は、制度の趣旨を踏まえ、予算の増額と多くの事業者が参入できるよう検討されたい。
- 4 狭山市入間川七夕まつりは、市民全体の祭りとして更なる賑わいが図られるよう予算の増額を検討されたい。
- 5 想定される様々な災害に対応するため、現代社会の生活様式に合った災害備蓄品(アレルギー対応食、携帯電話・スマートフォン充電器など)を備えるよう検討されたい。

■ 文教厚生委員会

- 1 本格的な高齢化社会の到来を見据えて、地域福祉サービスの充実のため、財源及び

介護のあり方を調査・検討されたい。

- 2 ふれあい健康センターをはじめとする指定管理者更新にあたっては、これまでの総括を行い、現管理者の実績等を評価の対象に加えられたい。
- 3 国及び県の学力・学習状況調査の結果を検証し、目標達成に向けて、予算の確保も含めた学力向上のための取り組みを強化されたい。

■ 建設環境委員会

- 1 雨水対策として、雨水貯留施設等の整備を推進し、集中豪雨にも対応できる街づくりを図られたい。
- 2 雨水貯留浸透施設設置補助事業については、市民への積極的な周知と補助の拡充を図られたい。
- 3 幹線道路の舗装については、国の補助等を積極的に活用し、整備されたい。
- 4 住宅等耐震改修促進助成事業については、耐震化率の向上に向け、市民への積極的な周知を図り、利用を促進されたい。

討論

議案に賛成・反対します

◆平成24年度 一般会計歳入歳出決算認定



賛成討論(要旨)

「地域の元気臨時交付金」を活用して、事業を前倒しするなど、時期を捉えた補正予算を編成し、実質収支額が24億3,400万円あまりと大きな黒字で、評価できる。

▶各種基金の残高総額も97億7,700万円あまりと、今後の事業実施に十分である ▶財政指標も、健全性の高さが見てとれる ▶収納率の向上、未利用の市有地の処分時期や国・県の補助金の的確な捕捉に努め、財源の確保に努めていきたい ▶着実な成果を挙げたと評価するが、安定と継続性をもった行政運営を行っていく上では、十分な検討が必要である ▶24年度に導入した事業別予算を活用して、時代の変化に対応した市政を追求してほしい

反対討論(要旨)

旧政権のもとで「社会保障・税一体改革素案」が決定され、高齢者には医療・介護の負担増と年金の削減、子育て世帯には年少扶養控除の廃止などによる増税と、市民に大きな負担が課せられた年度。狭山市の豊かな基金を活用し、以下のような市民サービスの充実を求める。
 ▶臨時職員が67名と常態化している。正規職員への積極的登用を ▶狭山市駅西口駐車場は900万円の黒字。駐車場、駐輪場の無料化を ▶智光山公園アスレチックの適切な管理がされていない。早期に対応を ▶店舗・住宅リフォーム補助金の大幅増額を ▶就学援助の基準を引き上げ、PTA会費も対象費目に ▶消防が広域化された。サービス低下を招かない対応を

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313